

○琴丘総合支所・山本総合支所

日 程	令和2年3月4日(水)
会 場	議長室
開 会	午前9時00分～午前9時45分
出席委員	工藤秀明(委員長)、成田光一(副委員長)、 伊藤千作、後藤栄美子、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	琴丘：工藤(一)支所長、皆川補佐、岡本係長 山本：工藤(伸)支所長、内藤補佐、佐々木係長
No.	質疑応答の概要
	○琴丘総合支所
1	P51-55 旧上岩川小学校及び旧鯉川小学校の管理運営費の内訳は。 [答] 旧上岩川小学校が69万円、旧鯉川小学校が119万円である。
2	P61 業務委託料(草刈等業務)について、作業対象箇所は。 [答] 主に林道を含む管内の公共用地。依頼があれば、道路や学校等の他課管理の行政財産であっても対象としている。
3	P65 庁用車維持管理費について、教育委員会分5台が減となった理由は。 [答] 当該5台については、教育委員会のみ使用であったため、管理を明確に区分した。
4	P131 青春館高圧機器改修工事とは。 [答] 屋外設置のキュービクルについて、老朽化のため改修するものである。
	○山本総合支所
5	P33 下岩川財産区は、どのような活動をしているのか。 [答] 森林管理事業である。

○総務課（選挙管理委員会事務局）

日 程	令和2年3月4日（水）
会 場	議長室
開 会	午前9時50分～午前10時25分
出席委員	工藤秀明（委員長）、成田光一（副委員長）、 伊藤千作、後藤栄美子、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	石井課長、三浦(保)課長補佐、三浦(幸)課長補佐、川村係長、石井係長、 田中主査、嶋田主査

No.	質疑応答の概要
6	P17 地方消費税交付金の算定根拠は。 <input type="checkbox"/> 国が算定したものを、県が人口比率等で按分して市町村へ配分しているため、算定根拠については把握していない。
7	P19 地方交付税は、前年度と比較して減額されているのか。また、今後も減額されるのか。 <input type="checkbox"/> 令和2年度は、令和元年度当初予算と比較し、5,000万円減額の見込みとなっている。一本算定分が令和2年度は90%減額となり、令和3年度には100%減額となるため、その後は減額の動きはある程度安定すると考えている。しかし、人口減少等の影響があるため、増額の見込みはないものと見込んでいる。
8	P33 財政調整基金の総額は。 <input type="checkbox"/> 現在の総額は、約30億3,200万円（令和元年度3月補正予算及び令和2年度当初予算を含む）である。なお、平成30年度末は約38億1,700万円であり、基金が減額に転じている状況である。
9	P33 利子及び配当金について、基金運用の考えは。 <input type="checkbox"/> 運用に成功している自治体もあるが、運用にはリスクを伴うため、慎重に検討する必要があると考える。
10	P35 ふるさと元気づくり基金の残高は。 <input type="checkbox"/> 約9,200万円である。
11	P39 宝くじ市町村交付金の使用用途は。 <input type="checkbox"/> 事業種目がいくつか示されており、人口の高齢化・少子化等に係る事業として赤ちゃん誕生祝い金、芸術・文化の振興に係る事業として伝統芸能の祭典、地域経済の活性化に係る事業としてプレミアム付き商品券発行事業に充てている。
12	P43,53 空き家解体費補助事業及び住宅リフォーム助成事業の過疎債とは。 <input type="checkbox"/> これまでは両事業とも町単事業であったが、過疎債の借入れをすると償還額の7割が交付税算入されるため、県と協議し、令和2年度から新たに計上したものである。
13	P53 本庁舎車椅子対応トイレ設置工事は、どのように行うのか。

No.	質疑応答の概要
1 4	<p data-bbox="304 286 1412 365"> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">答</span> 本庁舎裏口付近にある備品庫を改修し、車椅子対応トイレを設置する予定である。         </p> <p data-bbox="304 376 655 409">           P63 行政連絡員の人数は。         </p> <p data-bbox="304 421 1230 454"> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">答</span> 八竜地域が98人、山本地域が93人、琴丘地域が71人である。         </p>

○税務課

日 程	令和2年3月4日(水)
会 場	議長室
開 会	午前10時40分～午前11時20分
出席委員	工藤秀明(委員長)、成田光一(副委員長)、 伊藤千作、後藤栄美子、金子芳継
欠席委員	なし
説明員	金子課長、石井補佐、成田係長

No.	質疑応答の概要
15	P13 個人住民税所得割が減となっている理由は。 <input type="checkbox"/> 答 当初予算では実績を基に積算し、その結果として、減となった。所得の確定によって、令和元年度(平成30年分)と比較して農業収入は増えると見られるので、実際は増加すると思われる。
16	P13 たばこ税の収入額が1億円未満となったのはいつからか。 <input type="checkbox"/> 答 平成27年度の1億円を最後に減少しており、平成30年度は平成29年度と比較し、150万円程度の減となっている。
17	P13 原動機付自転車等の課税区分は。 <input type="checkbox"/> 答 原動機付自転車は、50cc以下が2,000円、50cc超～90ccが2,000円、90cc超～125ccが2,400円であり、その他にもミニカーや農耕作業用等がある。
18	P13 法人税の滞納が発生する原因は。 <input type="checkbox"/> 答 倒産になった場合が多い。
19	P15 入湯税の積算根拠と実績は。 <input type="checkbox"/> 答 積算は、実績を基に行っている。収入額は、平成29年度が4,520万円、平成30年度が4,400万円であった。なお、令和元年度は、ゆうぱるの休館があったため、例年より減となる見込みである。
20	P16 ゴルフ場利用税の今後の見通しは。 <input type="checkbox"/> 答 今後、大きく減となる見込みはないと考えている。
21	P73 納税貯蓄組合の組合数は。 <input type="checkbox"/> 答 平成31年4月1日現在で178組である。令和2年度は171組となる予定で、組合数は毎年10組程度の減となっている。
22	P73 滞納整理機構への職員派遣の予定は。また、徴収実績は。 <input type="checkbox"/> 答 派遣事業は平成30年度で終了している。なお、徴収実績は、2件、40万円で、どちらも住民税であり、差し押さえ後に自主納付となった。
23	P73 ASPサービス業務とは。 <input type="checkbox"/> 答 確定申告内容を電子データで税務署に送信する業務等である。

## ○会計課

日 程	令和2年3月4日(水)
会 場	議長室
開 会	午後1時00分～午後1時10分
出席委員	工藤秀明(委員長)、成田光一(副委員長)、 伊藤千作、後藤栄美子、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	平澤課長、島田補佐
No.	質疑応答の概要
24	P51 消耗品費の用途は。 <input type="checkbox"/> 答 会計管理者が人事異動により変更となった場合等、各種印鑑の更新が必要となるため計上したものである。

○議会事務局（監査委員事務局）

日 程	令和2年3月4日（水）
会 場	議長室
開 会	午後1時10分～午後1時20分
出席委員	工藤秀明（委員長）、成田光一（副委員長）、 伊藤千作、後藤栄美子、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	近藤主事
No.	質疑応答の概要
25	P77 監査は、年何回行っているのか。 <input type="checkbox"/> 答 法定されているものとして、例月出納検査を毎月1回行い、定期監査及び決算 審査も実施している。

○企画政策課

日 程	令和2年3月4日(水)
会 場	議長室
開 会	午後1時20分～午後2時20分
出席委員	工藤秀明(委員長)、成田光一(副委員長)、 伊藤千作、後藤栄美子、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	金子課長、後藤補佐、加藤補佐、西村係長、伊藤係長、平塚係長

No.	質疑応答の概要
26	<p>P33,67 ふるさと納税の活用は。歳入と歳出の差額が町事業に充てられているのか。</p> <p>☐ 答 学校給食費の免除や、スポーツ・文化振興のための事業等に活用されている。なお、差額ではなく、寄附金を元気づくり基金に積み立て、基金から各種事業に充てている。</p>
27	<p>P33,67 これまで人気のあった返礼品は。また、新たな返礼品を検討しているか。</p> <p>☐ 答 令和元年度の実績では、米の希望者が多く、人気がある。実績を基にすると米をどのようにPRするかによって寄附金に変化があるのではないかと考えている。</p>
28	<p>P33,67 当町の場合、1万円のふるさと納税に対し、返礼品はいくら相当か。</p> <p>☐ 答 国からの通知等により、返礼品は納税額の3割を上限としているため、3千円以下である。</p>
29	<p>P55-61 クアオルトのウオーキング人口は。</p> <p>☐ 答 実人数は増加傾向にあるが、令和元年度は、新型肺炎コロナウイルスや熊出没の影響もあり、前年度を割り込むのではないかと見込んでいる。</p>
30	<p>P55-61 クアオルト事業の今後の展望は。</p> <p>☐ 答 医療費の抑制については、明確な把握はできていないが、実践者は平成27年度の事業開始から増加しており、健康づくりの意識改革には繋がっていると考えている。引き続き、健康づくり及び交流人口拡大という目標を達成できるよう取り組んでいきたい。なお、体制については、令和2年度で検討されることになる。</p>
31	<p>P55-57 国土強靱化地域計画の内容は。</p> <p>☐ 答 災害対応等についての方策を内容とするものである。策定にあたっては、町民生活課、建設課等と連携し進めていきたい。</p>
32	<p>P59 地域おこし協力隊について、任期終了後も定住してもらうための方策は。就業等のサポートが必要ではないか。</p> <p>☐ 答 定住のため、就業等支援が必要であると考えている。新たな取り組みとして、令和2年度予算に地域おこし協力隊起業支援補助金を計上した。町で起業する場</p>

No.	質疑応答の概要
	<p>合に100万円を上限として補助金を交付するものである。なお、補助金については、特別交付税の対象となる。</p>
3 3	<p>P67-69 結婚支援事業の実績は。また、サポーターの人数は。</p> <p><b>答</b> 令和元年度は、成婚1組であった。今まで活動してきた中で、成婚に至ったのは今年度が初めてである。なお、縁結びサポーターは現在8人である。</p>
3 4	<p>P67-69 結婚出合い創出イベントの開催状況は。また、今後の展望は。</p> <p><b>答</b> 令和元年度は、琴丘地域にある松庵寺で2回、ゆめろんで1回の計3回開催された。イベントを開催した場合、1団体20万円を上限に補助している。今後は、能代市、八峰町、藤里町と連携してイベントを開催するなどの方法を検討している。</p>
3 5	<p>P69-71 三種町ふれあいバスの運行が開始されたが、運転手や町民の反応は。また、今後も路線の見直し等を行うのか。</p> <p><b>答</b> 運転手は、1路線あたり3人から5人程度となっている。運転手や町民からは、車内で会話することが楽しいという声が多く聞かれる。なお、事業としては2年間実証運行としているので、必要に応じて今後も路線の見直しを行う。</p>



上記会議の次第を記載し、その相違ないことを証明するためにここに署名する。

予算特別委員会総務分科会委員長      工 藤 秀 明

